

第7回 北信越エンジンシステム研究会 議事録

日時：2012年9月11日（火）

12：00～12：30

会場：金沢大学角間キャンパス

〒920-1192 石川県金沢市角間町

<講演会>

出席者：5名（敬称略，順不同）

[1] 会員 5名

手崎（富山大学），加藤（金沢工業大学），吉本（新潟工科大学），榎本（金沢大学），大嶋（福井工業大学）

議事内容：

1. 予算について

平成23年度予算と平成24年度予算について報告があった。収入としては平成22年度からの繰越金は¥86,237，平成23年度受入額¥0。支出の部では講演者旅費として¥50,340，茶菓子代¥4,177，アルバイト¥23,500 支出され，残金は¥8,220 である。平成24年度の予算は平成23年度からの繰越金¥8,220，平成24年度受入額¥56,000 の合計¥64,220 である。

2. 活動報告

平成23年度の活動について報告があった。活動内容は以下のとおりである。

7月27日 RC247（主査：岡山大学 富田 栄二 教授）と合同で，第4回北信越エンジンシステム研究会を実施（富山大学）

11月19日 第5回 北信越エンジンシステム研究会（金沢工業大学扇が丘キャンパス）

12月28日-29日 ワークショップ「化学反応をキーワードに着火現象を考える」（福井大学 安東 弘光 教授）を実施（第6回北信越エンジンシステム研究会 共催として）

1月27日 金沢大学基調講演会（講演題目：究極の内燃機関を目指して SKYACTIV エンジンの開発，講師：マツダ 廣瀬一郎様）を実施（共催）

3. 活動予定報告

本年度の活動予定について報告があった。活動予定は以下とおりである。

8月20日 第4回ユニバーサル燃焼反応モデル研究分科会（幹事：豊橋技術科学大学 小口達夫 准教授）と合同で第6回北信越エンジンシステム研究会を実施

9月11日 第7回北信越エンジンシステム研究会

12月28日-29日 ワークショップ「化学反応をキーワードに着火現象を考える」（福井大学 安東 弘光 教授）を共催

1月21日(仮日程, 交渉中)「直噴ターボエンジンについての話題(予定)」(スバル 金子誠様)

1月21日に予定している講演には本研究会より謝礼を支払うことが確認された。また, 4件に加えて1月以降には金沢大学で講演会を予定しており, 内容が決定次第, 担当の榎本先生より連絡を頂き, 研究会会員にメールにて連絡を行う。

4.その他

- ・その他の研究会活動について

来年度以降の研究活動では Wisconsin 大学から帰国される小橋先生(金沢工業大学)に帰国報告の講演をしていただくことが決定した。

以上
(文責 大嶋)